平成26年度

千葉県立市原緑高等学校 自己評価

平成26年12月1日(月) ミニ集会・開かれた学校づくり委員会(第3回)にて (14:30~15:50)



千葉県立市原緑高等学校

平成26年度 千葉県立市原緑高等学校 自己評価について

平成26年12月 1日

11月中旬から保護者の皆様方にお願いしましたアンケートにつきまして、御多用にも関わらず 御協力をいただきありがとうございました。10月中旬から実施したその他のアンケートも含めた結 果に基づく学校の自己評価結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

アンケートの評価者は生徒及び保護者の皆様ですが、教職員の自己評価及び生徒による授業評価も 実施しましたので、併せてお知らせいたします。

「学校評価」を実施した目的は次の3点ですが、その目的はほぼ達成できたと考えております。

- 1 今までの学校運営・教育実践を省みて、今後の改善策等の検討に資する。
- 2 保護者・地域の方々の学校に寄せる期待に応えるとともに、生徒にとってより魅力的な学校づくりに向けた指針を得る。
- 3 学校の説明責任を果たす。

貴重な御指摘、御意見・御提言も多数いただきました。今後も引き続き、本校の課題として取り組んでまいります。

- 1 生徒による学校評価(生徒による学校に関するアンケート)について(別紙1-1, 1-2参照) A:よく当てはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:全く当てはまらない・・・以下,同じ
 - (1) 学校は、授業や行事、学習内容等を十分説明し、授業以外のことにも力を入れており、安心できる学校であると評価している。

評估	田者	No.	評価数値が高い質問項目	A + B
生	徒	1	学校は、授業や行事等の計画を事前に知らせている。	8 4 %
生	徒	5	学校は、学習内容や評価方法を十分に説明している。	8 2 %
生	徒	12	学校は、授業だけでなく、行事・部活動等にも力を入れている。	7 8 %
生	徒	4	授業の進度は適切である。	7 6 %

(昨年度比 1:-2P 5:+1P 12:+4P 4:+4P)

(2) ボランティア活動や社会的な規範意識が不足していると評価している。

評句	田者	No.	評価数値が低い質問項目	A + B
生	徒	11	学校の施設設備は充実している。	58%
生	徒	2	学校は、地域でのボランティア活動等にも積極的に取り組んでいる。	6 1 %
生	徒	9	生徒は、社会生活でのマナーやルールをよく守り、校内の式典等につい	6 5 %
			ても、整然と行われている。	
生	徒	13	学校の校訓・教育方針・校則等は理解できるものである。	6 7 %

(昨年度比 11:+1P 2:+5P 9:+3P 13:-2P)

※ 昨年度、一昨年度の状況に比較して、本校の生徒の生活面での状況は良くなっているという声を学校内外からいただいてはいますが、生徒自身は社会的な規範意識がまだ不足していると実感している様子がうかがえます。これは、生徒に内在する向上心の芽とも考えられます。学校としては、生徒の声や保護者の方々の御意見に耳を傾けながら、将来社会で自立していける人間教育に向けて、「ヤング防犯ボランティア活動」や、生徒会を中心とした生徒の自主的な制服着こなし改善活動も含め、地域の中で地道な教育活動に取り組みたいと考えます。

施設設備の充実については、学校関係者の方々の特段の御協力もいただきながら、粛々と進めてまいりたいと考えます。

また、わかりやすい授業の展開 (No.3 73% 昨年度比+8P) に向けて、学校全体でさらに 真摯に取り組む所存です。

- **2 保護者による学校評価 (学校に関するアンケート)** について (別紙 2 1, 2 2 参照)
 - (1) 保護者は、進路指導や行事、部活動等について学校が積極的であると評価している。 また、問い合わせ等への対応や教育方針理解に向けた取組も評価している。

評価者	No.	評価数値が特に高い質問項目	A + B
保護者	14	市原緑高校に入学させてよかったと思う。	9 4 %
保護者	10	学校は、保護者からの問い合わせ等に対して親切に対応している。	93%
保護者	12	学校は、授業以外の各種行事や部活動なども大切にしている。	93%
保護者	7	学校は,学年に応じた適切な進路指導をしている。	93%
保護者	11	学校は、学校の教育方針を保護者に理解してもらうように努めている。	9 2 %

(昨年度比 14:+3P 10:+1P 12:±0P 7:-1P 11:+2P)

(2) 学校の学力向上に向けた取組は、まだ十分ではないと評価している。

評価者	No.	評価数値が比較的低い質問項目	A + B
保護者	5	学校は、学習の遅れがちな生徒の指導にも熱心に取り組んでいる。	8 1 %
保護者	6	学校は、少人数指導、ティームティーチング等、学力向上に熱心に取り	8 6 %
		組んでいる。	

(昨年度比 5:+7P 6:+8P)

※ 後で触れる「生徒による授業評価」でも見られますとおり、本校生徒の学習に向けた意識はまだまだ低いと言わざるを得ません。こうした状況を踏まえ、ふだんの授業の場面では、ワークシートや情報機器の活用、グループ学習や意見発表・相互評価等の工夫を重ねており、放課後や定期考査前の補習等、様々な対応もしています。更に今年度は、職員に「授業に関する調査」を実施し、その結果を踏まえ、より効果的な授業の在り方についての意見交換を実施しました。また、現1・2年生の学校設定教科「ブラッシュアップ」及び3年生の「朝学習」の実施により、静かで落ち着いた一日の始まりが実現できており、これを契機とした生徒の基礎学力向上に向けた取組を更に強化したいと考えます。

3 教職員による学校評価(教職員用学校評価アンケート)について(別紙3参照)

No.	評価数値が特に高い質問項目	A + B
8	職員の学習評価は、常に公平・公正かつ、適切である。	100%
18	個人情報などのセキュリティーが適切になされている。	100%
11	学校には、進路や学校生活などの悩みを相談できる場や機会があり、職員は、生	9 5 %
	徒が困ったとき,よく面倒をみている。	
13	職員は、教材の精選や授業の展開方法を工夫するなど、授業内容の定着に努力し	93%
	ている。	

(昨年度比 8:±0P 18:+5P 11:-5P 13:-5P)

N	Vo.	評価数値が特に低い質問項目	A + B
1	16	生徒は、清掃や校内美化活動に積極的に取り組んでいる。	1 7 %
1	4	生徒は、真面目に授業に取り組み、授業内容を理解している。	22%
1	5	生徒は、社会生活でのマナーやルールをよく守り、学校の式典なども、整然と行	3 3 %
		われている。	
1	17	学校の施設設備が充実し、整備も行き届き十分活用されている。	3 3 %

(昨年度比 16:-16P 14:-8P 15:-14P 17:-7P)

※ 特に評価数値の低い項目を取り上げましたが、各項目ともマイナスのポイントとなっています。 昨年度は14から17のすべての項目が伸びを示していましたが、今年度のこの状況を踏まえ、現在 本校で進めているカード指導システムをより効果的に運用し、特にグリーンカードの扱いも含め、 生徒も参画した更に積極的な生徒指導や規範意識向上を図ります。こうした地道な取組が、学校において最も基本的な取組である、日常的な授業態度の改善にもつながっていくと考えています。

4 生徒による授業評価(授業・学習に関するアンケート)について(別紙4参照)

No.	質 問 項 目	A + B	25年度
自一 1	日頃、授業に意欲的に取り組んでいる。	79.4 %	78.7 %
自一 2	始業のチャイムと同時に席に着いている。	90.0 %	86.7 %
自一 3	シラバスを活用している。	18.6 %	20.7 %
自一 4	日頃から、自宅学習を行っている。	18.5 %	18.8 %
自一 5	定期考査前に、自宅でいつも以上に勉強した。	55.0 %	50.7 %
先一 1	授業では、成績のつけ方が、十分に説明された。	88.6 %	87.7 %
先一 2	先生方の授業はわかりやすく展開されている。	78.4 %	72.5 %
先一 3	先生方の黒板の使い方は適切だと思う。	83.7 %	77.0 %
先一 4	先生方の説明の声の大きさは適切だと思う。	87.1 %	85.0 %
先一 5	先生方の授業を進める速さは、適切だと思う。	79.2 %	71.4 %
先一 6	先生方は、プリントの活用や実験・実習など、授業の内容に興味	73.4 %	74.1 %
	を持たせる努力をしていた。		
先一 7	先生方は,生徒に公平に接していた。	71.1 %	67.9 %
先一 8	先生方は、授業開始のチャイムに遅れることなく授業を行ってい	75.1 %	64.5 %
	た。		
先一 9	先生方は、熱心に指導してくれた。	77.9 %	73.5 %
先一10	本校の授業は生徒にとって「やる気」の起こる授業である。	57.4 %	52.7 %
先一11	考査問題の内容は授業の内容に合ったものである。	87.6 %	81.8 %
先-12	考査問題の量は考査時間(50分)に対して適切である。	79.8 %	75.0 %

この生徒による授業評価結果に、市原緑高校の日常の授業の様子の一端が見て取れると考えます。 全般的な状況としては、ほとんどの項目で数値が上昇していることは喜ばしいことですが、下降した三つの項目の一つに、自一4の**自宅学習**があることは見逃せません。今年度は各教科で、必要に応じて適切な家庭学習の課題も課すようにしてきましたが、残念な結果と言わざるを得ません。この結果を謙虚に受け止め、これからも更に授業改善の取組を推進したいと考えています。現在、年3回の職員の授業見学週間のほか、保護者の方々にもお知らせしている年2回の授業公開を実施しています。また、今年度も近隣諸学校と連携し、職員が積極的に授業見学にも出かけており、今後ともこのような取組を継続していきたいと考えています。

生徒自身の「自分の学習態度について」では、シラバス活用もさることながら、やはりふだんからの**家庭学習の実態**(自-4)は大きな課題であると言わざるを得ません。学校で日常的な学習方法の指導もしながら、家庭学習を充実させるためには、「何のための勉強か?」、「将来の進路はどうするのか?」という観点が重要です。学校では、各学年段階でのキャリア教育-生徒の在り方・生き方を考えさせる教育-を更に充実させていきますが、御家庭の協力無しには家庭学習の充実は難しいのも事実です。よろしくお願いします。

次に、「先生の授業について」ですが、やはり「**やる気の起こる授業」**(先-10)展開が必要です。 学校では、上に記述したような取組の実施を通じて、様々な方々に学校のふだんの姿を公開するとと もに、授業の在り方を研究しようとしています。これからもこのような取組を更に充実させ、生徒た ちが「楽しくわかる授業」、「やる気の起こる授業」を目指したいと考えます。

平成26年度 千葉県立市原緑高等学校 生徒による学校評価 集計結果

回答者数計 4 1 0 名/回答率 91.5% (評価欄の数字は当該項目の回答者に占める割合で,上欄が今年度,下欄は前年度・前々年度の数字を示す。)

A:よく当てはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:全く当てはまらない

	A:よく当てはまるB:やや当てはまる_ I	C : 8	oまり当 [*] 評 値		ない	D:全く当てはまらない I
	評 価 項 目	A	B	西 欄 C	D	
	学校は 極要の行事数の利恵を事故に知ら なっ	28. 7%	55. 3%	12. 5%	3. 4%	
1	学校は,授業や行事等の計画を事前に知らせている。	30.0%	55. 5%	11.1%	3.4%	
		30. 1%	52. 7%	13.6%	3.6%	
	学校は 地域でのギランテ,マ江動館にも種類	16. 5%	44. 9%	29. 6%	8. 9%	
2	学校は、地域でのボランティア活動等にも積極的に取り組んでいる。	9.6%	45.9%	34.4%	10.1%	
		11.4%	39. 7%	35.0%	13.9%	
	 全体的に見て、わかりやすい授業が展開されて	17. 2%	55. 6%	20. 8%	6. 4%	
3	主体がに光で、42/3・5人を入り及来が展開されて	12.1%	53.0%	30.0%	4. 9%	
		11.8%	54.1%	27.6%	6.5%	
		17. 7%	57. 9%	20. 9%	3. 4%	
4	授業の進度は適切である。	15. 3%	56. 9%	23.2%	4. 7%	
		16. 4%	56. 7%	21.7%	5. 2%	
	 学校は,学習内容や評価方法を十分説明してい	29. 6%	52. 8%	14. 6%	3. 0%	
5	子校は、子宮内谷や評価方法を十分説明している。	24. 7%	55. 8%	16.0%	3.5%	
		26. 3%	52.1%	16.9%	4. 7%	
	 学校の進路学習(進路に関わる調べ学習・説明	22. 2%	50. 4%	22. 0%	5. 4%	
6	会など)は、役にたっている。	15. 9%	54.8%	23. 2%	6. 1%	
		19.9%	49.3%	23.0%	7.8%	/////
	 進路情報の提供は十分なされており,進路資	20. 6%	51. 5%	22. 3%	5. 6%	<u></u>
7	は使いやすく整理されている。	16. 2%	51.0%	24. 3%	8.6%	////
		16.0%	49.4%	27.4%	7. 1%	
	 学校は,生徒の意見を聞いたり,悩みなどの相	24. 9%	48. 8%	17. 7%	8. 6%	
8	談ができる場を設けている。	21. 2%	49.5%	21.7%	7.6%	
		23. 4%	39. 3%	26. 1%	11.2%	
	生徒は、社会生活でのマナーやルールをよく守		48. 1%	23. 5%	11. 9%	
9	り, 校内の式典等についても, 整然と行われている。	12. 1%	49.8%	27. 1%	11.1%	
	V '/J o	11.6%	38. 2%	29.9%	20.3%	
	 学校は、いじめや暴力、セクハラ等がない安心	26. 0%		15. 9%	7. 4%	
10	できる学校である。	23.9%		19. 2%		
		17. 8%				
	Note that the state of the stat	16. 6%	 			
11	学校の施設設備は充実している。	13. 3%	43. 2%	26.8%	16. 7%	
		8. 9%	45. 8%	28. 1%	17. 2%	
	 学校は,授業だけでなく,行事・部活動等にもえ	25. 8%			5. 4%	
12	を入れている。	24.1%	 	19. 2%	6. 4%	
		20. 4%	46. 2%	26.0%	7.4%	A
	 学校の校訓・教育方針・校則等は理解できるも	20. 6%	46. 6%		11. 5%	
13	のである。	10. 5%		22.0%	8.6%	
		15. 6%		24.8%	9.6%	
		25. 1%	47. 3%	18. 5%	9. 1%	
14	市原緑高校に入学してよかったと思う。	24. 4%	48.4%	18.5%	8.6%	
		25.6%	39. 9%	22.0%	12.6%	

平成26年度 千葉県立市原緑高等学校 保護者による学校評価 集計結果

回答者数計 294名/回答率 65.6% (評価欄の数字は当該項目の回答者に占める割合で,上欄が今年度,下欄は前年度・前々年度の数字を示す。)

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

	A: よくめ (はまる B: ややめ (はまる B: や の)			田 欄	1	D: ±0/E(Ø(G±6/kV) ■A ■B ■C ■D
		A 30. 9%	В 59. 1%	C 8. 9%	D 1. 0%	
1	学校は、保護者向けの文書やHPでの情報発信	21. 7%	62.6%	12.8%	2. 8%	
	に積極的に取り組んでいる。	23. 1%	61.1%	13.5%	2. 3%	
		37. 8%	48. 8%	12. 4%	1. 0%	
2	学校は、保護者が授業参観する機会を設けている。	31.4%	53. 4%	14.1%	1. 1%	
	' ∂ ∘	36. 2%	53. 7%	10.1%	0.0%	
		35. 2%	54. 9%	9. 6%	0. 3%	
3	学校は、PTA活動や保護者面談等、保護者との連携に積極的である。	30. 4%	58. 7%	9. 5%	1.4%	
		30. 7%	60. 2%	8.9%	0.3%	
		20. 3%	68. 0%	10. 3%	1. 4%	
4	学校は、わかりやすい授業が展開するように努めている。	17. 1%	69.1%	12.7%	1.1%	(1112)
		15. 1%	69.6%	14.2%	1.2%	V///2
	学校は,学習の遅れがちな生徒の指導にも熱心	21. 2%	59. 7%	17. 4%	1. 7%	
5	に取り組んでいる。	15. 2%	58. 7%	23.2%	2. 9%	
		17. 3%	58. 5%	22.2%	2.0%	
	学校は,少人数指導,ティーム・ティーチング	21. 8%		13. 3%	1. 1%	
6	等,学力向上に熱心に取り組んでいる。	15. 0%	1	21. 2%	1. 1%	
		15. 2%	 	20.2%	2. 4%	
	学校は, 学年に応じた適切な進路指導をしている。	31. 7%		7. 2%	0. 7%	
7		28. 3%		6. 1%	1. 1%	
		26. 7%	61. 2%	11. 2%	0. 9%	
8	生徒は,授業以外の各種行事や部活動などにも 熱心に取り組んでいる。	37. 5% 36. 3%		10. 6% 11. 3%	1. 0%	
0	熱心に取り組んでいる。	34. 5%		12. 1%	2. 0%	
		34. 0%		12. 1%	1. 0%	
9	学校の生徒指導の方針は理解できる。	31. 3%	55. 3%	11.6%	1. 8%	
	TK V TKILA V// WINGE/IF C C SO	29. 3%	59. 8%	9.8%	1. 1%	
		46. 2%	-	6. 5%	0. 0%	
10	学校は、保護者からの問い合わせ等に対して、	37. 5%	1	7. 0%	1. 4%	
	親切に対応している。	36. 9%	55. 1%	7. 4%	0.6%	
		32. 9%	-	6. 9%	1. 0%	
11	学校は、学校の教育方針を保護者に理解してもよったないない。	29. 9%	59. 8%	10.0%	0.4%	
	らうように努めている。	31.0%	59. 8%	8.9%	0.3%	
		40. 4%	52. 4%	6. 8%	0. 3%	
12	学校は、授業以外の各種行事や部活動なども大切にしている。	39. 9%	52. 7%	7. 5%	0.0%	
	例にしている。	34. 2%	58.6%	6. 9%	0.3%	
	公益, 1. 古万太公司(中京)(北京) - 1. (1) - 1. (1)	28. 3%	60. 3%	10. 7%	0. 7%	<u>////</u>
13	学校は,良好な学習環境の維持のために施設・ 設備の保全に努めている。		60.9%	15.4%	1.1%	
		22.8%	60.5%	15.9%	0.9%	
		45. 4%	48. 5%	4. 4%	1. 7%	
14	市原緑高校に入学させてよかったと思う。	41.9%	48.9%	8. 5%	0.7%	
		43. 7%	46.0%	8.9%	1.4%	

平成26年度 千葉県立市原緑高等学校 教職員による学校評価 集計結果

回答者数計 43名/回答率 100.0% (評価欄の数字は当該項目の回答者に占める割合で,上欄が今年度,下欄は前年度・前々年度の数字を示す。)

A: よくあてはまる B: だいたいあてはまる C: あまりあてはまらない D: まったくあてはまらない

	評 価 項 目	評価欄				⊠A ⊠B ⊠C ■D		
		Α	В	С	D			
	管理職は、職員とのコミュニケーションを図り	11. 9%	42. 9%	31.0%	14. 3%			
1	ながら、よくリーダーシップを発揮している。	16.3%	53.5%	30.2%	0.0%			
		22. 2%	66. 7%	11.1%	0.0%			
	然理動い 松大士付金松大口標の月刊ルス市の	20. 9%	62. 8%	14.0%	2. 3%			
2	管理職は、教育方針や教育目標の具現化に取り	18.6%	69.8%	11.6%	0.0%			
	組んでいる。	24. 4%	62. 2%	13.3%	0.0%			
	管理職は,職員の心身の健康管理に配慮すると	11. 9%	_	31. 0%	7. 1%	V/////		
3	ともに、セクハラ防止に必要な対応・措置を	25. 6%	1	20.9%	2. 3%			
	行っている。	22. 7%	, -	9. 1%	2. 3%			
			41. 9%	39. 5%				
	職員間の意思疎通は、職員会議をはじめ各種会	9. 3%			9. 3%			
4	議が情報交換や課題検討の場となり,スムース	19. 5%	63. 4%	17. 1%	0.0%			
	である。	15.6%	68. 9%	15.6%	0.0%			
	本校は、教育活動全般に関して、生徒や保護者	4. 7%	67. 4%	25. 6%	2. 3%			
5	の願いに応えており、生徒や保護者は本校に入	9.3%	83. 7%	7.0%	0.0%			
	学してよかったと思っている。	4.5%	56.8%	38.6%	0.0%			
	本校は、教育活動を保護者に理解してもらうよ	16. 3%	72. 1%	11.6%	0.0%			
6	うに努めており、情報提供が適切で、保護者と	27. 9%	65. 1%	7.0%	0.0%			
	スムースに連携している。	17.8%	66. 7%	15.6%	0.0%			
		19.0%						
7	本校は、学習内容や評価方法について、生徒・	23. 3%		9.3%				
l '	保護者に十分説明し,理解させている。	20. 5%	-	15. 9%				
		52. 5%			0.0/0			
	職員の学習評価は、常に公平・公正かつ、適切			0.0%				
8	である。	32.6%	-	0.0%				
		29. 5%		0.0%	0.0/0			
	本校の生徒指導の方針は、適切でしっかりして	9. 3%	48. 8%	30. 2%				
9	おり、実績は満足のいくものであり、安全・安	16.3%	60.5%	23.3%	0.0%			
	心な学校である。	11.1%	44.4%	42.2%	2.2%			
	各学年に応じた系統的な進路指導がなされてお	11. 9%	76. 2%	11. 9%	0. 0%			
10	り,担任への進路情報の提供は充分なされてい	23.3%	62.8%	14.0%	0.0%			
	る。	30. 2%	46.5%	23.3%	0.0%			
	学校には、進路や学校生活などの悩みを相談で	34. 9%	60. 5%	4. 7%	0. 0%			
11	きる場や機会があり、職員は、生徒が困ったと	55. 8%	44. 2%	0.0%	0.0%			
	き、よく面倒をみている。	37. 2%	60.5%	2.3%	0.0%			
	本校は、生徒が望ましい自主性・自律性を育め	11.6%						
12	本校は、生徒が呈ましい自主性・自律性を育めるよう、特別活動の指導について配慮してい	20. 9%		14. 0%	0.0%			
12	る。			20. 5%	0.0%	XIIIII)		
	υ ₀	15. 9%						
	職員は、教材の精選や授業の展開方法を工夫す	28. 6%		4. 8%				
13	るなど、授業内容の定着に努力している。	27. 9%		2.3%	0.0%			
		23. 3%		4. 7%	0.0%			
	生徒は,真面目に授業に取り組み,授業内容を	2. 4%	19. 5%	65. 9%	12. 2%			
14	理解している。	0.0%	30.2%	62.8%	7.0%			
		2.3%	15.9%	72.7%	9.1%			
	从往往 社会出任不可一上 中 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2. 3%	30. 2%	55. 8%	11.6%	<u> </u>		
15	生徒は, 社会生活でのマナーやルールをよく守り, 学校の式典なども, 整然と行われている。	7.0%	39.5%	46.5%	7.0%	<u> </u>		
	リ,子区の八典はこも,登然と11771にいる。	0.0%	11.6%	65. 1%	23.3%			
		2. 4%	14. 3%					
16	生徒は、清掃や校内美化活動に積極的に取り組	4. 7%	27. 9%	60. 5%	7.0%			
10	んでいる。	0.0%	13. 6%	59. 1%	27. 3%			
		2. 4%	31. 0%			\/\/\/\		
17	学校の施設設備が充実し、整備も行き届き十分							
17	活用されている。	4. 7%	34. 9%	55. 8%	4. 7%			
-		0.0%	34. 1%	52. 3%	13.6%			
	個人情報などのセキュリティーが適切になされ	31. 0%		0.0%	0. 0%			
18	でいる。	30. 2%		4. 7%	0.0%			
	. •	25.0%	!	2.3%	0.0%	MV		
		11.6%	37. 2%	39. 5%	11.6%	MIN		
19	仕事上,充実感を感じている。	27. 9%	51.2%	20.9%	0.0%			
		16.3%	44.2%	37. 2%	2.3%			

平成26年度 千葉県立市原緑高等学校 生徒による授業評価 集計結果

回答者数計 413名/回答率 92.2% (評価欄の数字は当該項目の回答者に占める割合で,上欄が今年度,下欄は前年度・前々年度の数字を示す。)

A:よく当てはまる B:やや当てはまる C:あまり当てはまらない D:全く当てはまらない

	A:よく当てはまる B:やや当てはまる	C . a.	<u>) まり当`</u> 評 イ	五欄	7,4,4	D:全く当てはまりない
	評 価 項 目	Α	В	С	D	
自分		26. 5%	52. 9%	17. 5%	3. 2%	
1	日頃、授業に意欲的に取り組んでいますか。	24.6%	54. 1%	17.3%	3. 9%	
		20.6%	55. 1%	22. 7%	1.6%	
自分		52. 4%	37. 6%	8. 7%	1. 2%	
2	始業のチャイムと同時に席に着いていますか。	43.1%	43.6%	10.3%	2.9%	
		40.5%	45.8%	11.9%	1.9%	
自分		7. 6%	11.0%	23. 5%	57. 8 %	
3	シラバスを活用していますか。	5.4%	15.3%	26.0%	53.2%	
		8.0%	12.2%	26. 2%	53.6%	
自分		7. 3%	11. 2%	33. 9%	47.6%	
4	日頃から,自宅学習を行っていますか。	5. 2%	13.6%	33.3%	47.9%	
		5.4%	10.0%	31.9%	52.7%	
自分	应册·************************************	26. 9%	28. 1%	24. 7%	20. 3%	<u> </u>
5	定期考査前に、自宅でいつも以上に勉強しましたか。	20. 7%	30.0%	24.6%	24.6%	
	7~ <i>1</i> 3~°	20.6%	29.9%	27.6%	22.0%	
先生		42. 3%	46. 2%	7. 8%	3. 6%	V/9
1	授業では,成績のつけ方が,十分に説明されま したか。	34. 3%	53.4%	8.1%	4. 2%	
		32. 9%	53. 7%	9.7%	3. 7%	
先生		19. 4%	59. 1%	15. 4%	6. 1%	
2	先生方の授業はわかりやすく展開されています	16. 2%	56. 3%	19.9%	7.6%	
	か。	15. 3%	57.4%	20.5%	6. 7%	
先生		25. 5%	58. 2%	11. 9%	4. 4%	///
3	先生方の黒板の使い方は適切だと思いますか。	22. 0%	55.0%	18.6%	4. 5%	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	19. 3%	57. 9%	17. 7%	5. 1%	
先生		32. 8%	54. 3%	9. 5%	3. 4%	
4	先生方の説明の声の大きさは適切だと思います	29. 7%	55. 3%	10.6%	4. 4%	(///s
	か。	26. 9%	57. 5%	10.9%	4.6%	
先生		24. 0%	55. 2%	15. 3%	5. 6%	
5	先生方の授業を進める速さは、適切だと思いま	18. 2%	53. 2%	21. 2%	7. 4%	
	すか。	16, 7%	57.0%	19. 3%	7.0%	
先生	先生方は、プリントの活用や実験・実習など、	22. 9%	50. 5%	18. 5%	8. 0%	
	授業の内容に興味を持たせる努力をしていまし	17. 0%	57. 1%	19. 5%	6. 4%	
	たか。	16.6%	53. 6%		7. 2%	
先生		24. 7%	46. 5%	16. 4%		
	先生方は、生徒に公平に接していましたか。	19. 8%	48. 1%	21. 2%	10. 9%	
	3 2 2 7 3 2 7 2 7 9 C	15. 9%	51. 3%	20. 1%	12.6%	
先生		19. 6%	55. 5%	18.6%	6. 4%	
8	先生方は、授業開始のチャイムに遅れることな	13. 5%	51. 0%	25. 6%	9. 9%	
	く授業を行っていましたか。	15. 4%	59. 1%	20. 1%	5. 4%	
先生		25. 3%	52. 6%	16. 3%	5. 8%	
	先生方は、熱心に指導してくれましたか。	16. 8%	56. 7%	19. 1%	7. 4%	
	>=====================================	16. 9%	55. 7%	19. 0%	8. 4%	
先生		13. 4%	44. 0%	30. 2%	12. 4%	
10	本校の授業は、あなたにとって「やる気」の起	10. 6%	42. 1%	30. 2%	17.0%	
10	こる授業ですか。	10. 5%	42. 1%	31. 9%	15. 2%	
先生		32. 2%	55. 4%	8. 8%	3. 7%	
	考査問題の内容は授業の内容に合ったものでし	26. 7%	55. 1%	12. 3%	5. 9%	
11	たか。	24. 4%	62. 1%	11. 3%	2. 3%	
先生		31. 9%	47. 9%	14. 4%	2. 3% 5. 8%	
元生	考査問題の量は考査時間(50分)に対して適	24. 9%	50. 1%	17.0%	7. 9%	<u> </u>
12	切でしたか。	24. 9%	50. 1%	17.0%	4. 5%	
		۷1.3%	ეა. 1%	15.1%	4. 5%	5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.